

④共同追究前半（解法の比較検討）

「どの説明にも共通していることは何だろう？」

→「入場券１枚と乗り物券5枚が共通していることを利用して，乗り物券2枚分の値段を求めている。」

「共通している部分を消すと，違いが値段の差になる。」

③個人追究：絵や図に表して追究し，値段を求める。

②学習課題：絵や図に表して，買い方の似ているところや違いに目をつけ，乗り物券の値段を求めよう。

仕方を，計算や図を使って

②見通し：入場券と乗り物券の値段の両方ともわからない。

→似た買い方をして200円違うことから求められそうだ。

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・絵や図をもとに数量の関係をとらえて立式することができる。

○既習とつなぐ見方・考え方

・2要素3段階の問題等，2つの条件を結びつけて計算方法を考える学習をしている。

教材研究ノート№5-A-7

④共同追究後半（思考を深める）

「『入場券1枚と乗り物券5枚で1000円』をもう1つの買い方に当てはめて考えていいのかな？」

→「どちらの買い方も入場券と乗り物券の値段は変わらない。」

「線分図を見ても，入場券1枚と乗り物券5枚の長さはそろえて考えている。」

≪学習問題≫

遊園地の入場券1まいと乗り物券7まいを買うと，1200円になりました。入場券1まいと乗り物券5まいでは，1000円になるそうです。

乗り物券1まいのねだんは何円ですか。

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・2つわからないものがあっても，同じものに目をつけることで，求められることがあることがわかった。

・同じものに目をつけるのは，そろえる考え方とつながっている。

⑥定着･活用問題

大小2種類の風船があります。

大1個と小3個を買うと340円，大2個と小3個

を買うと440円になるそうです。大，小の風船の値

段はそれぞれ何円ですか。

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・学習問題を一人一人が把握できるように，子ども自ら図をかく等の手だてが必要である。

・共通部分を相殺しているのか，あてはめているのか，子どもの言葉やノートにかかれたものから思考を読み取りたい。（中2の連立方程式の加減法と代入法につながる考え方）それらを比較させ、それぞれのよさからまとめたい。